

感動広げる党大会議案・力合わせ「大運動」の成功へ

大平議員 広島県で10人の入党者を迎える

七中総決定・党大会決議案は中国地方の各県で大きな反響を呼んでおり、各県のニュースにも「95年の党史を振り返り、世界的にも最前線に立っている党の一員として誇りを感じた」（島根県党ニュース）などの感想が紹介されています。

大平議員は11月20日、広島県廿日市市の「つどい」に参加して党大会決議案を紹介しながら党綱領を語り、入党を訴えました。「つどい」参加者の一人の方が入党の決意をされ、大平議員は「大運動」に入って、広島県で10人の入党者を迎えています。

岩国へのF35B配備反対集会に700人・市民と野党の共同で

民進・社民代表とともに大平議員が力強く挨拶



11月20日岩国市で「最新鋭ステルス戦闘機F35Bの配備反対」集会が開催され、岩国を中心に各地から700人が参加しました（写真）。

集会は、岩国基地の強化に反対する市民4団体の共同で開催され、政党からは共産党、民進党、社民党が参加し激励しました。

共産党からは大平喜信衆議院議員が参加し、「この集会で示された怒りの声を、明日の国会の委員会で直接、稲田防衛大臣に突き付けてがんばる」と挨拶、参加者から大きな共感の拍手が寄せられていました。

中国各県から続々と政府交渉

11月9日の防衛局と中電本社交渉を皮切りに「出先機関交渉」が順次行われているのと併せて、各県の代表による政府交渉が続々と取り組まれています。

11月14・15日には島根県委員会の大規模な政府交渉団が二日間かけて各省庁と交渉。さらに17日には倉敷市議団が政府交渉。そして、21日には鳥取県議団が政府交渉を行い、今後も各地方議員団が上京する予定です。（写真は島根県委員会の政府交渉）

交渉には大平議員（代理も含む）が出席、さらに各県からは来年の地方選の予定候補も出席し、地域の声を真剣に届けていました。

